

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： オープン群知能学の創成：「群の制御」から「群で制御」へ

2. 研究代表者： 東 俊一（京都大学 大学院情報学研究科 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、センサやアクチュエータにより外界に開かれた群知能として「オープン群知能」の概念を提案し、群の制御に関する基礎的な研究と社会への展開を目指している。フェーズ1では「群で制御」するための数理基盤を順調に構築している。対象とするシステムのコンポーネントである「スワーム AI」「スワーム最適化」「スワーム制御」の個々の課題については、十分な研究成果が得られている。特に、「価値交換による合意」において、数学的に美しい結果が得られていることは大いに評価できる。フェーズ2では、学術研究としての体系化をさらに深めて頂くとともに、成果を学術界のみならず社会に発信し、その成果に興味をもっていただく企業との共同研究を通し、企業からニーズの提供を得て研究の社会実装についても進展することに期待する。

以上